

令和4年度消費・安全対策交付金（食料安全保障確立対策推進交付金）の成果及び評価報告書

1. 令和4年度消費・安全対策交付金（食料安全保障確立対策推進交付金：ソフト事業）（令和4年度当初予算分）

目的	目標	事業実施主体	目標値	実績	達成度	評価	所要額 実績 (円)	交付金 相当額 (円)	県による評価の概要
I 農畜水産物の 安全性の 向上	農薬の適正使用等の総合的な推進	和歌山県	農薬の不適切な販売及び使用の発生割合 目標値：0%	0%	100%	A	859,903	393,000	研修会の開催や、啓発資料の活用等により、農薬の使用者・販売者に対して、適正な取り扱いをするよう指導を行った。 今後も引き続き、農薬販売者や使用者への指導に取り組み、不適切な販売及び使用の発生率0%を維持していく。
	海洋生物毒等の監視の推進	和歌山県	海洋生物毒のモニタリングの総実績数 目標値：117回	127回	108%	A	544,500	195,000	海洋生物毒のモニタリング総実施数の目標117回に対し、漁業・養殖業の実施状況を考慮して127回の調査・分析を行っており、目標回数を達成している。 漁場環境モニタリング体制や、貝毒検出時における出荷自主規制を要請する監視体制を継続することで、毒化した二枚貝の流通が未然に防がれており、水産物の安全性確保に貢献したことから、本事業は適切に実施できたと考える。 令和4年度は、県内において貝毒の発生はなかったが、瀬戸内海域では依然として貝毒が発生していることから、今後も二枚貝の安全性確保を図るため、各海域の漁業実態を踏まえた監視調査を継続して実施する必要がある。
II 伝染性 疾病・ 病害虫 の発生 予防・ まん延 防止	家畜衛生の推進	和歌山県	家畜衛生に係る取組の充実度 目標値104.3%	111.0%	106%	A	9,813,033	4,780,000	取組の充実度については、目標値104.34%のところ実績値111.02%となり、達成度106%とすることができた。 これは、各農場で問題となっている生産性を低下させる疾病や病原体に対し、実情に応じた指導・検査を行った結果、これらによる被害低減につながったためと考えられる。 一方で、依然として肉用鶏の盲腸便や採卵鶏の鶏舎からサルモネラが分離されていることについては、動物由来感染症の原因となり得ること、食品の安全性が担保されないことから、上記取組についてより一層の指導を継続していく必要がある。
	養殖衛生管理体制の整備	和歌山県	養殖衛生管理指導を実施した経営体数の養殖等経営体総数に占める割合 目標値：100%	100%	100%	A	1,628,000	814,000	リモートや対面での会議や研修に出席し、積極的に情報収集を行うとともに、県内養殖衛生対策会議を书面開催し、すべての養殖経営体に魚病発生状況や水産用抗菌剤に関する情報提供を行った。 養殖衛生管理指導については、目標値である50経営体を達成し、養殖現場における衛生管理技術の向上を図った。また、魚病検査や種苗導入前の健康診断等についても前年度より20件多く実施するなど、魚病の発生予防・まん延防止に努めた。 以上のことから、本事業は適正に実施できたと考える。 今後も継続して、魚病の発生予防・まん延防止に努めるとともに、安全な養殖生産物の供給を維持するため、巡回指導・水産用医薬品の適正使用指導等に努めなければならない。

病害虫の防除の推進	和歌山県	防除が困難な作物の防除体系の確立の現状からの向上率 目標値：128%	128%	100%	A	1,086,311	539,000	<p>本県の主要品目における防除が困難な病害虫について防除体系の確立のための取組を行った。その具体的な内容は以下のとおりである。</p> <p>①薬剤に対する耐性菌の出現が県内産地の一部で確認されているカンキツの灰色かび病に対して、従来の薬剤感受性検定手法よりも安価で迅速な手法を確立でき目標は達成できた。現場で実践できる技術であることから、本検定手法は有望であると考え。今後はこの検定手法の普及に取り組みたい。</p> <p>②イチゴ炭疽病対策に対する薬剤防除効果試験等を実施し、研修会で生産現場への周知を図った。今後も、重要な育苗時防除を安定させるため実証した管理法の普及に努める。</p> <p>③ミニトマトのタバコナジラミに対しては主要な殺虫剤の有効性を確認し、気門封鎖剤を利用した栽培初期の管理法を実証できたことから、生産現場への周知を広報誌等により行い目標は達成できた。今後も、重要な栽培初期防除を安定させるため実証した管理法の普及に努める。</p> <p>④カキ炭疽病菌の薬剤耐性菌の発生状況を明らかにし、現行の防除体系が本病に有効であることを明らかにした。また、生産現場への周知を広報により行い目標は達成できた。今後は薬剤以外の防除対策を組み入れた総合防除対策の確立に取り組みたい。</p> <p>⑤2mm目合い白色ネット全面被覆の連年設置により、果実品質に影響は無いことを明らかにした。また、生産現場への周知を研修会等で行い目標は達成できた。今後は技術普及に向けた取組を進めたい。</p> <p>⑥DMI剤の散布回数を低減した防除体系でウメ黒星病に対して高い防除効果が得られることを実証できた。チラシの配布や説明により生産現場への周知を行った。今後は防除暦例への反映に向けて取組を進めたい。</p> <p>⑦ビワのビワキジラミに対しては、摘果・袋がけの際にハンドスプレーを使用する新しい防除技術について防除効果、作業性、経済性を確認するとともに、生産現場への周知を講習会や広報誌への掲載により行い目標は達成できた。今後は技術普及に向けた取組を進めたい。</p> <p>⑦-2ビワのビワキジラミの防除に適用できる農薬が少ないため、農薬（リーフガード顆粒水和剤）の薬剤が対照農薬と同等であることや薬害が認められ無い事、残留分析に供する果実サンプルを分析機関に送付して適用拡大に繋げる事で新たに緊急的な防除体系を確立でき目標は達成できた。今後はこの防除体系の普及に取り組みきたい。</p>
		防除が困難な作物の防除体系の確立の普及取組数 目標値：16回	17回	106%	A	3,725,546	1,850,000	
重要病害虫の特別防除等	和歌山県	対象病害虫の調査の総回数 目標値：10回	100%	100%	A	14,000	14,000	本事業及び県単独事業の実施によりトマトキバガのオス成虫1匹の誘殺が確認された。周辺地域の調査を実施したものの、発生は認められず、県内での被害の発生はないことを確認できた。今後も重要病害虫の侵入を警戒するため、引き続き侵入状況の把握に努める必要がある。
総計・総合評価				104%	A	17,671,293	8,585,000	

目的	目標	事業実施主体	目標値	実績	達成度	評価	所要額実績(円)	交付金相当額(円)	県による評価の概要
Ⅲ地域での食育の推進		和歌山県	栄養バランスに配慮した食生活の実践度 目標値：90%	84.5%	93%	B	1,190,140	595,070	<p>県民が地域農林水産物への理解を深め、栄養バランスのとれた食生活を送ることができるよう、小学生向けの食育教材の作成や、大学生への講座、食育関係者を対象とした研修会を実施した。</p> <p>また、県の第4次食育推進計画策定に向けて食育推進会議を開催した。</p> <p>事業実施後の栄養バランスのとれた食生活の実践度（現状値：52.3%）及び産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶ者の割合（現状値：65.3%）について、目標値には届かなかったが、大幅に向上したことや参加者の感想等から、栄養バランスのとれた食生活の重要性を学び、地域農産物について理解を深める機会になったと考えられる。</p>
			産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶ者の割合 目標値：71.2%	70.5%	99%	B			
地域での食育の推進		わかやま市民生活協同組合	食文化の継承度 目標値：60.0%	85.0%	141%	A	124,940	60,580	<p>食文化の継承を目標とした講演会では、和歌山発祥のかつお節や醤油の歴史、郷土料理のさばなれずしについて学び、地域食材の魅力を知る機会となった。</p> <p>また、環境に配慮した農林水産物・食品に関する学習会では、「値段が少し高くても、誰かの笑顔になる買い物をしようと思う」等の感想が寄せられており、環境に配慮した農林水産物・食品への理解向上につながったと考えられる。</p>
			環境に配慮した農林水産物・食品を選ぶ者の割合 目標値：70.3%	87.8%	124%	A			
			産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶ者の割合 目標値：71.2%	94.8%	133%	A			
総計・総合評価				83.5%		B	1,315,080	655,650	

目的	目標	事業実施主体	目標値	実績	達成度	評価	所要額 実績 (円)	交付金 相当額 (円)	県による評価の概要
特別交付型交付金									
II 伝染性 疾病・ 病害虫 の発生 予防・ まん延 防止	家畜衛生の推進	和歌山県	高病原性鳥インフルエンザのまん延防止	高病原性 鳥インフ ルエンザ のまん延 防止	達成	適正	2,454,951	1,225,385	高病原性鳥インフルエンザ防疫指針に基づき、飼養家きんの殺処分、汚染物品の処理、農場消毒、消毒ポイントにおける車両消毒等を実施した結果、各管内での続発なく防疫措置を適切に完了できた。
総計・総合評価					達成	適正	2,454,951	1,225,385	

2. 令和4年度消費・安全対策交付金（食料安全保障確立対策推進交付金：ソフト事業）（令和3年度当初予算繰越分）

目的	目標	事業実施主体	目標値	実績	達成度	評価	所要額 実績 (円)	交付金 相当額 (円)	県による評価の概要
II 伝染性 疾病・ 病害虫 の発生 予防・ まん延 防止	重要病害虫の特別防除等	和歌山県	対象病害虫の調査の総回数 目標値：517回	518回	100%	A	216,000	216,000	本事業の実施によりミバエ類、コドリング、カンキツグリーニング病菌、スイカ果実汚斑細菌病菌及びプラムポックスウイルスの発生は認められず、県内への侵入はないことを確認できた。今後も重要病害虫の侵入を警戒するため、引き続き侵入状況の把握に努める必要がある。
総計・総合評価					100%	A	216,000	216,000	

3. 令和4年度消費・安全対策交付金（食料安全保障確立対策推進交付金：ソフト事業）（令和3年度補正予算繰越分）

目的	目標	事業実施主体	目標値	実績	達成度	評価	所要額 実績 (円)	交付金 相当額 (円)	県による評価の概要
特別交付型交付金									
Ⅱ 伝染性 疾病・ 病害虫 の発生 予防・ まん延 防止	病害虫の防除の 推進	有田川町	スクミリンゴガイの発 生抑制	スクミリ ンゴガイ の発生抑 制	達成	適正	147,100	73,550	本事業の実施により数字にはできなかったものの、防除効果は実感できており、またチラシの作成・配布及び 現地説明会における防除方法の周知も行っていることから一定の成果はあったものとする。本事業の成果をさ らに地域全体に共有し、引き続き薬剤以外の防除方法も組み合わせた総合的な防除に取り組み、当害虫による被 害を軽減していただきたい。
	重要病害虫の特 別防除等	和歌山県桃研究 協議会	クビアカツヤカミキリ の発生抑制	クビアカ ツヤカミ キリの発 生抑制	達成	適正	149,765	69,000	本事業の実施により県内のモモ、スモモ、ウメ産地の生産者等に対して、当害虫の防除対策の重要性について 広く啓発、指導できている。生産者自身が園地や周辺に注意を払い、通報につなげることが出来ただけでなく、 対策の重要性の周知によりその後の伐採等にスムーズにつなげることができた。引き続き当害虫の被害拡大を抑 制するため、生産者等への啓発を継続的に実施し当該虫による被害の拡大抑制につなげていただきたい。
		JA紀の里生産販 売委員会クビア カツヤカミキリ 対策協議会	クビアカツヤカミキリ の発生抑制	クビアカ ツヤカミ キリの発 生抑制	達成	適正	5,518,400	2,508,121	飛翔性の高いクビアカツヤカミキリの防除では、地域での一斉防除により、成虫密度を下げるのが重要であ る。本事業では、協議会構成員の生産者に対して防除対策の啓発を行ったうえで、地域一斉に薬剤散布を行っ ているため、防除を必要な時期に効果的に行うことができていると思われる。引き続き当害虫の被害拡大を防止す るため、生産者への啓発および薬剤散布を次年度以降も継続して実施していただきたい。
		クビアカツヤカ ミキリ防除対策 協議会	クビアカツヤカミキリ の発生抑制	クビアカ ツヤカミ キリの発 生抑制	達成	適正	2,627,900	1,313,950	飛翔性の高いクビアカツヤカミキリの防除では、地域での一斉防除により、成虫密度を下げるのが重要であ る。本事業では、協議会構成員の生産者に対して防除対策の啓発を行ったうえで、地域一斉に薬剤散布を行っ ているため、防除を必要な時期に効果的に行うことができていると思われる。引き続き当害虫の被害拡大を防止す るため、生産者への啓発および薬剤散布を次年度以降も継続して実施していただきたい。
		和歌山県	クビアカツヤカミキリ の発生抑制	クビアカ ツヤカミ キリの発 生抑制	達成	適正	609,167	304,580	本事業の実施により、被害発生地域において春と秋に悉皆調査を実施し、新たな被害園に対する防除指導を行 うことが出来た。指導により多くの被害園地では掘り取りやネットを巻く等の応急的な防除を行った後、被害樹 を伐採することによりさらなる被害拡大を防ぐことが出来た。 また県内のモモ、スモモ、ウメ産地の生産者等に対して当害虫の防除対策の重要性について広く啓発、指導で きた。生産者自身が園地や周辺に注意を払い、通報につなげることが出来ただけでなく、対策の重要性の周知に よりその後の伐採等にスムーズにつなげることができた。 引き続き当害虫の被害拡大を抑制するため、悉皆調査の実施による被害の拡大抑制と生産者に対する防除対策 の啓発、指導を行う。
		総計・総合評価				達成	適正	9,052,332	4,269,201